

定期作況報告

(平成24年8月20日現在)
上川農業試験場天北支場

I 気象概況

7月下旬から8月中旬までの気象は以下のように推移した。

7月下旬：平均最高気温が23.8℃(対平年比+2.8℃)、平均最低気温は15.8℃(+1.7℃)と平年より高かったため、平均気温は19.6℃(+2.3℃)と平年より高かった。降水量は26.5mm(55%)と平年より少なかった。日照時間は40.5時間(88%)と平年並であった。畑地温は16.8℃(+0.8℃)と平年よりやや高かった。

8月上旬：平均最高気温は19.8℃(-4.2℃)、平均最低気温は14.8℃(-2.7℃)と平年より低かったため、平均気温は17.0℃(-3.5℃)と平年より低かった。降水量は16.5mm(45%)と平年より少なかった。日照時間は25.1時間(55%)と平年より短く、畑地温は16.5℃(-2.0℃)と平年より低かった。

8月中旬：平均最高気温は26.1℃(+2.8℃)、平均最低気温は18.0℃(+2.0℃)と平年より高かったため、平均気温は21.7℃(+2.2℃)と平年より高かった。降水量は59.0mm(227%)と平年より多く、日照時間は46.4時間(102%)と平年並であった。畑地温は18.7℃(±0.0℃)と平年より高かった。

以上、この期間を要約すると平均気温の3旬の平均は19.4℃(+0.3℃)と平年並だった。降水量の3旬合計は102.0mm(92%)、日照時間の3旬合計は112.0時間(82%)と平年並であった。畑地温の平均は17.3℃(-0.4℃)と平年並であった。

4月からの主気象要素の積算値は、平均気温、日照時間、畑地温は平年並に推移している。一方、降水量は平年の74%と平年よりやや少なく推移している。

a. 気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			3旬平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	19.6	17.3	2.3	17.0	20.5	△ 3.5	21.7	19.5	2.2	19.4	19.1	0.3
平均最高気温(℃)	23.8	21.0	2.8	19.8	24.0	△ 4.2	26.1	23.3	2.8	23.3	22.7	0.6
平均最低気温(℃)	15.8	14.1	1.7	14.8	17.5	△ 2.7	18.0	16.0	2.0	16.2	15.8	0.4
降水量(mm)	26.5	48.6	△ 22.1	16.5	36.3	△ 19.8	59.0	26.0	33.0	102.0	110.9	△ 8.9
降水日数(日)	4	4	△ 0	4	4	0	6	4	2	14	12	3
日照時間(hrs)	40.5	45.9	△ 5.4	25.1	45.9	△ 20.8	46.4	45.5	0.9	112.0	137.3	△ 25.3
平均畑地温(10cm,℃)	16.8	16.0	0.8	16.5	18.5	△ 2.0	18.7	18.7	0.0	17.3	17.7	△ 0.4
最多風向	E			ENE			ENE					
平均風速(m/s)	2.9			1.7			3.0					

注1) 平均畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。

2) 平年値は前10か年の平均より上川農試天北支場作成。

3) 降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。

4) △印は対平年値比減を示す。

b. 主気象要素積算値(4月21日～8月20日)

	平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (hrs)	畑地温 (℃)
本年	1,652	254	603	1,306
平年	1,618	342	576	1,431
比較	34	△ 88	27	△ 126

Ⅱ 作 況

1. 採草型 チモシー（2番草）

作況：やや不良

事由： 本年は出穂茎が多く、草丈が平年に比べて16cm高かったものの、乾物収量は平年の90%であった。平年に比べて乾物率が5%程度高いことから、7月下旬の高温及び7月下旬～8月上旬の降水不足により、生育がやや抑制されたと考えられる。
以上より、目下の作況はやや不良である。

調査項目：

収 穫 期（月・日）			収 穫 時 草 丈（cm）		
本年	平年	比較	本年	平年	比較
8.15	8.18	△ 3	84	68	16

生草収量（kg/10a）			乾 物 率（％）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
855	1,165	△310	25.2	20.4	4.8	215	240	△25	90 %

注）平年値は前7か年のうち、平成20年（最豊年）及び平成22年（最凶年）を除いた5か年平均値。

2. 放牧型 ペレニアルライグラス（4番草）

作況：平年並

事由： 草丈、収量とも平年並であった。乾物率がやや低く、7月下旬以降の高温または降水不足による生育の影響はなかったと考えられる。
以上より、目下の作況は平年並である。

調査項目：

草 丈（cm）		
本年	平年	比較
37	38	△ 1

生草収量（kg/10a）			乾 物 率（％）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
967	873	94	17.0	18.7	△1.7	164	163	1	101 %

注）平年値は前7か年のうち、平成18年（最豊年）及び平成22年（最凶年）を除いた5か年平均値。